

本学の教員養成の理念

北海道医療大学看護福祉学部福祉マネジメント学科では、「社会福祉士」「精神保健福祉士」「介護福祉士」等の社会福祉専門職の養成を中心として社会福祉教育を行ってきました。

2008年4月に教員を目指す皆さんのために教職課程を開設し、2012年3月に初めて卒業生が免許状を取得しました。現在多数の卒業生が、特別支援学校教諭、高等学校教諭として学校現場で活躍しています。

なお、本学科における教員養成の教育理念は次のとおりです。

1. 厳格な人権擁護の視点を持ち、すべての人々の命と暮らしを守り高める姿勢を大切にすることのできる教員の養成
2. 児童、生徒をあるがままに受け入れ、児童、生徒の立場に立って、惜しみなく愛することのできる教員の養成
3. 自らの専門性と実践力を確立し、教育内容と目的を的確に児童、生徒に伝達できる教員の養成
4. 幅広い知識と高い倫理観を持ち、適格で総合的な判断と行動ができる教員の養成
5. 教育を取り巻く様々な課題を正しく理解し、積極的に真摯に取り組むことのできる教員の養成
6. 時代、時代の様々な社会問題の本質を探究することに敏感で、洞察を深めることのできる教員の養成
7. 豊かな感性と協調性、さらに優れたコミュニケーション能力と社会性を発揮することのできる教員の養成
8. 日々、自己実現と自己を高める努力を大切にする教員の養成